

淀川河川敷十三エリア魅力向上事業 事業概要及び管理運営に関する説明会

説明資料②

- 令和8年7月18日(土) 10:30～ -

RETOWN/類設計室/One Osaka リバークルーズ事業共同体

古くから水運の要所だった十三エリアは、淀川の豊かな自然環境を基盤にして、多様な人々や文化が集まる街へと発展してきました。現在では市内でも上位の出生数1,377人(令和4年)や、若者が多く街に活気がある一方、ファミリー層の転出率が高いことが課題になっています。私たちは、淀川河川敷を活かした「自然と人が交わる新たなにぎわいの場」として、子どもから大人までが集い、住み続けたいくなる拠点をつくります。阪急にわ筋線や図書館を含む複合施設のオープンなど、今後も発展する十三東エリアを盛り上げる事業を展開し、大阪の新たな拠点を目指します。

ミッション・コンセプト・ビジョン

MISSION/ミッション

河川敷の魅力をさらに発展させ、
「住み続けたいくなる」まちへ

- ・十三東エリアは、平安時代より京都や大阪、九州を結ぶ水運の重要な土地。明治期には中国街道と能勢街道の交通の結節点として、多様な人や文化が集まり街がつけられました。
- ・淀川河川敷には葦原や天然記念物が住む野草地区が広がっており、都市部でも豊かな生態系を感じられる開放的な環境は、生活の場としても魅力的です。
- ・河川敷の魅力と交通要所として集客性の高い立地を活かすことで人々が集い、愛着を持って住み続けたいなるまちづくりへとつなげます。

▼平安時代に水運の要だった十三



▼明治期に広域から人が集った十三



出典：十三のいま昔を歩こう

CONCEPT/コンセプト

いつでも多世代が集い、交流し、参加したくなる
開放的な自然が舞台のにぎわい空間

淀川つつみ市 ミナモト十三

- ・十三東エリアは、阪急電車の各線が乗り入れる十三駅に加え、新たに淀川に船着場が整備されたことで、集客性の立地ポテンシャルがさらに高まります。
- ・また、2026年4月にオープンしたもと淀川区役所跡地等の交流型図書館を含む複合施設によって、多世代交流の機会や生活の利便性も向上します。
- ・ここで淀川河川敷に多世代を対象としたにぎわいを生み出す事業を展開することで、交流型図書館も含めたエリアで「集いたくなり、交流したくなり、まちの一員として参加したくなる」まちをつくっていきます。

広域からの集客
(十三駅)

交流型
図書館

淀川河川敷

多世代が楽しめる
にぎわいによるまちづくり

〈事業内容〉
飲食店、イベント、自然体験
バーベキューなど

商店街
・
イベント

地域からの集客

VISION/ビジョン

大阪の新たな拠点として
誰もが「住みたい」と感じるまちへ

- ・現在、新大阪～十三～北梅田を結ぶ阪急にわ筋線や新大阪へのリニア開通に向けて工事が進んでおり、陸の交通拠点として発展する予定です。
- ・加えて十三にも船着場が整備され、防災拠点、水運拠点としても注目が集まっています。
- ・交通機関の広がりや、より広域から人々が十三に集まります。大阪の新たな集客拠点として、訪れた人たちに「住みたい」と感じていただき、定住につなげていくようなまちづくりまで発展させていきます。

▼十三交通の要である十三駅



現在の淀川河川敷は、平日は地域の方の散歩や運動など、地域の方々が日常的に足を運ぶ場として定着しています。私たちは、**日常的に利用しやすい**飲食・サービス事業や舟運事業、休日に利用したいイベント事業や自然体験事業を提供することで、よりいっそう**足を運びたくなる**河川敷を目指します。また、夕方以降も魅力ある事業を展開し、**利用者が少なかった時間帯にも人々が憩える場を提供**します。

平日も休日も、昼も夜もにぎわいを生み出す3つの事業領域

休日



家族で近所の淀川で手軽にレジャー体験



イベントに参加し学校の仲間と親睦を深める

平日（日中）



散歩の途中でリバービューのカフェを楽しむ



犬の散歩と合わせてペットと一緒に利用できる休憩スペースで地域の方と交流を深める

平日（夜間）



仕事終わりに気分を変えて外でのお疲れ会



たまには家族でアウトドアの夕飯を楽しむ

■ 飲食・サービス事業

屋台エリア ▶ P.04

- ・屋台飲食店を29店（オープン時は22店）配置し、選べる楽しさと何度でも来なくなる横丁をつくります。



バーベキューエリア ▶ P.06

- ・淀川の眺望を楽しみながらのバーベキューや、家族・ペットと過ごせる場を提供します。



舟運事業 ▶ P.08

- ・十三エリアを周遊する遊覧船など、多様な航路で舟運を展開します。



■ イベント事業

イベント・交流スペース ▶ P.07

- ・地域と連携し、自然や食など十三をテーマとしたイベントを開催します。



出典：yogibo JAPAN

- ・音楽や映画、アートなど、地元の住人たちと協力し、十三ならではの魅力を発信するイベントを開催します。



出典：国政木曾三川公園



出典：二子玉川経済新聞

■ 教育事業

自然体験学習 ▶ P.09

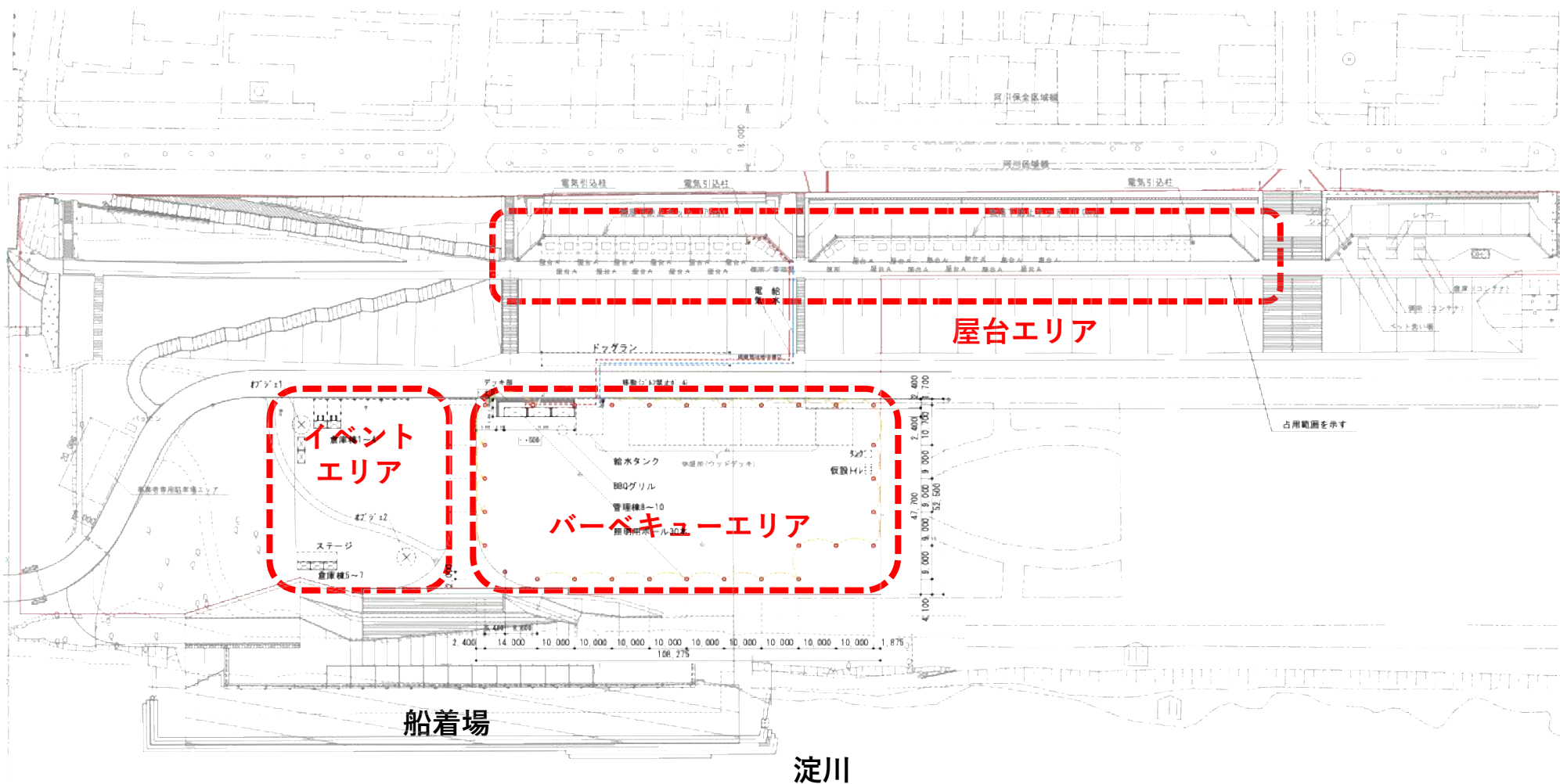
- ・子どもを対象に、淀川の自然環境を活かした自然学習や外遊びを展開します。



堤防部分は、飲食を提供する屋台型の店舗を配置します。多種多様な料理が楽しめる**飲食事業**を展開します。
高水敷部分は、水と緑を感じられる開放的なスペースを活かして、バーベキューエリアとイベントエリアを配置し、自然を感じながら**ゆったり過ごせる事業**を展開します。

全体配置図

↑ 至十三駅



堤防部分には、屋台型の飲食店舗を整備します。店舗は東西横一列に配置し、対岸の夜景を存分に楽しんでいただけます。飲食店においては、近隣住人が散歩ついでに立ち寄れる小規模店舗を集約したカジュアルな屋台村として最大29店舗を配置。（OPEN時は22店舗で施設の鮮度を保ち、利用者の期待値を上げていく目的として段階的に29店舗になる予定）**日常的にまたは特別な日にと、あらゆる客層、あらゆるシーンに対応**できるジャンル豊かな店舗を配置します。
【席数】290席（屋台内）232席（テラス部分）※29店舗の場合【業種】飲食【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など

事業内容

▼エリアイメージ



パース（東側からの鳥瞰）最大29店舗の屋台が立ち並ぶ様子
電飾の調光については最大限地域住民に配慮して運営

▼配置イメージ



◆屋台村（OPEN時は22店舗 ※最大29店舗）

◆気軽に使えるミニフードパーク

屋台村は小規模の29店舗を誘致予定で、博多の屋台村とは違い、有事の際以外は常設となり日々撤去をしない形態で営業します。
飲食店の営業許可を取得して運営する屋台村では国内最大規模となります。

大阪市内、大阪府下から主に地元の飲食店を中心に誘致し、近隣住民や散歩にきた人が**気軽に立ち寄れる**ミニフードパークとして展開します。



パース（堤防斜面から見た様子）

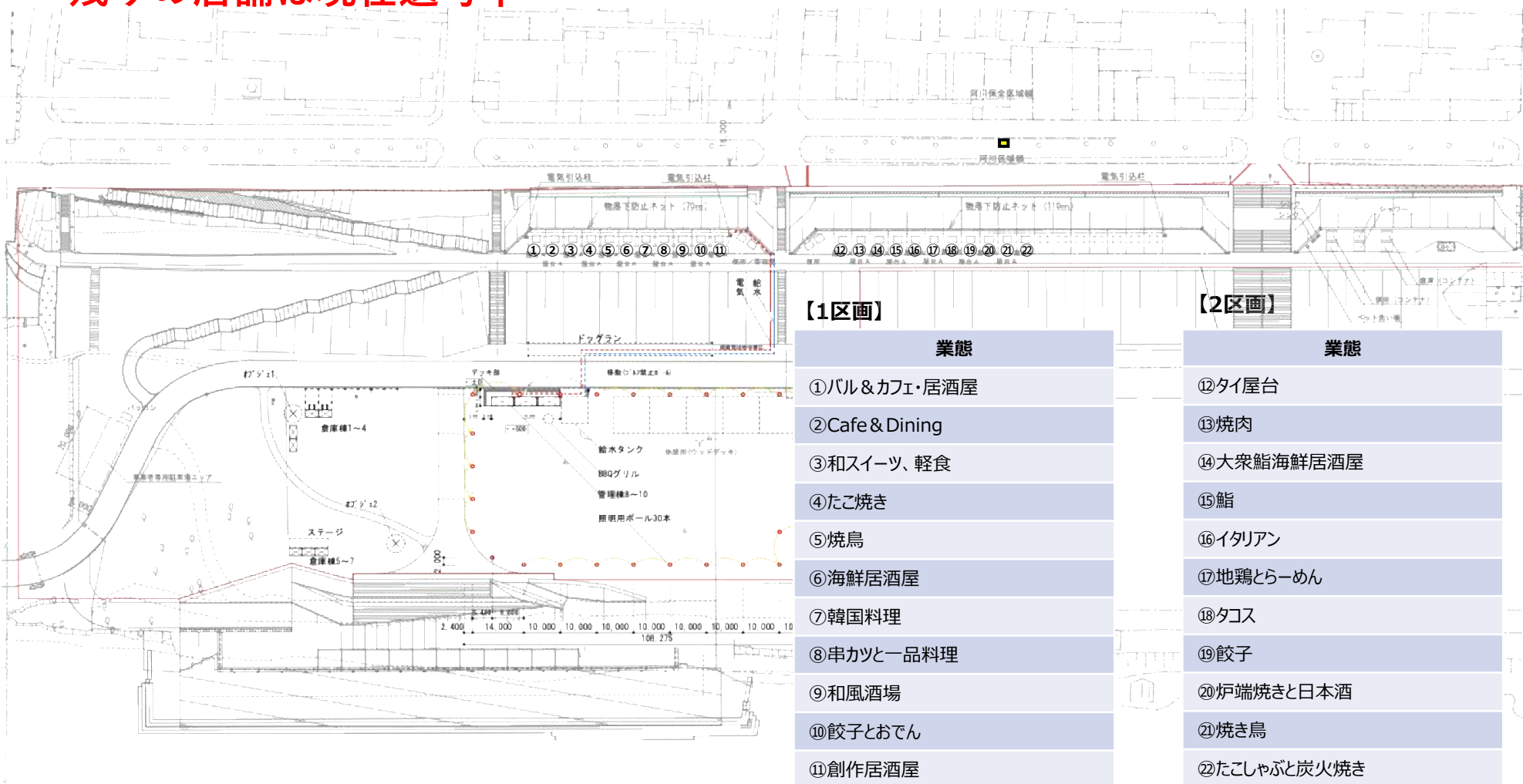


パース（屋台がにぎわう様子）

予定店舗

- ・お寿司
- ・焼き鳥
- ・おでん
- ・ビストロ酒場
- ・イタリアン
- ・海鮮酒場
- ・たこ焼き
- ・カフェ/スイーツ
- ・炉端焼き
- ・串カツ
- etc・・・

GRAND OPEN時は22店舗 残りの店舗は現在選考中



令和8年8月オープン時点での情報です。今後、変更になる可能性があります。

多目的広場の西側はイベントや交流スペースとして活用します。土日祝を中心に、地域の団体や住民の方と提携したイベントなどを開催。また、週末の夜を中心にナイトイベントを開催。第七芸術劇場と提携し、大阪出身の監督の映画上映や、大阪で活躍するアーティストのライブを楽しんでもらいます。

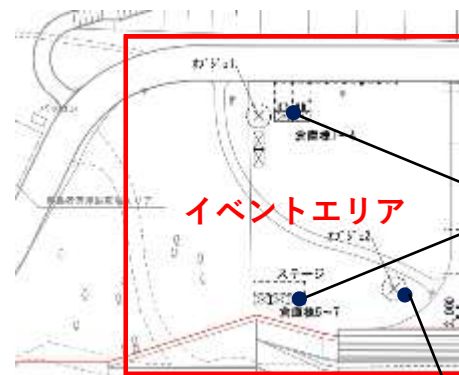
【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など

事業内容

◆週末や夜はイベントスペースとして活用

イベントエリアは、週末を中心にマルシェやアートイベントをはじめ、お子様や家族揃って楽しめるイベントを開催します。

▼イメージ



◆倉庫コンテナ&ステージ

高水敷にコンテナを倉庫として設置します。コンテナ前にステージを設置し、イベント時などに活用します。

◆地元団体との連携

地域住民や団体などと連携したイベントも開催します。第七芸術劇場や十三のアーティストとコラボした映画、アートイベントをはじめ、マルシェや子供向けのイベントなどを計画していきます。

※なにわ淀川花火大会や大阪・淀川市民マラソンなどの恒例イベントは、**運営会社と協力**し、速やかなイベント運営をサポートします。



出典：キッズゲルニカ



出典：淀川アーバンマルシェ

◆予定されるイベント

- フリーマーケット ●マルシェ
- 音楽イベント ●お笑いイベント
- 餅つき ●子供体験イベント
- 映画イベントほか



◆オブジェを設置

高水敷にアーティストとコラボした廃材を使ったアート作品を設置します。河川敷のシンボルとして楽しんでいただきます。

新設された船着場を拠点に、土日を中心に十三エリアを周遊する遊覧船を運航します。また、淀川ゲートウェイの開通により可能になった十三から大阪市内や京阪へと向かう船の運行なども検討していきます。道頓堀や大川などを中心に、遊覧船や2階建バーベキュー船を運行している「ワンダーグループ」を筆頭に、大阪の河川で舟運事業を行う企業の共同体である、一般社団法人 大阪観光・舟運事業組合と連携するため、実績もノウハウも問題ありません。【利用者層】ファミリー層・サラリーマン・学生など

事業内容



◆大阪市内や京阪エリアにもアクセスできる、舟運の拠点に

◆多彩な航路での運航を予定

十三の船着場を拠点に、**十三界隈を遊覧する便**をはじめ、**枚方方面や大川方面への周遊**を予定しています。

※枚方方面や大阪市内への就航については、当面の間はイベント等での就航（不定期）を予定しています。



上記は、2025年3月16日に開催された「淀川クルーズOSAKA BAY 新航路OPEN FESTIVAL」での運行の様子です

十三界隈に淀川を周遊する遊覧船を運航

当面の間は、十三船着場周辺の淀川を周遊する遊覧船の運航を予定しています。基本土日を中心とし、BBQと同じホームページにて予約を受け付けます（後日設定予定）。ただし、定員に達していない場合は、当日の乗船も受け付けます。雨天や強風の場合は安全上から運航を中止いたします。

乗船料は大人1,500～2,000円、小人1,000円程度を予定しています。また、BBQとセットでお得になるプランなども設定していく予定です。

十三以外の航路に関して

淀川ゲートウェイの完成により、十三から京阪方面や大阪市内への行き来が可能になりました。しかし、淀川ゲートウェイを通過するのに約30分を要することや、通過する時間帯に制限があることなどから、当面の間は「淀川ゲートウェイ運航ツアー」「十三から出航！大川お花見ツアー」などイベントとしての運航を検討していきます。

◆ロマンチックなサンセット&ナイトクルーズ船を運航

週末を中心にサンセットクルーズやナイトクルーズ船を運航。BBQとのセットプランなど、**十三エリアへの注目を集めるための魅力的なプラン**を提案します。



◆舟運の安全性に関して…今回連携する大阪観光・舟運事業組合の事業者全社が「大阪水上安全協会」に加盟しており、大阪水上安全協会の規約・指導のもと、事故防止対策などを推進した安全運航を遵守いたします。

共同事業体構成員である類設計室は、50年にわたる教育事業の実績があり、現在は大阪近郊の所有林、田畑、農場、海での自然体験学習プログラムを実践しています。今回は、淀川を舞台に体験型の環境学習プログラムを展開することで、子どもたちに淀川の歴史や生態系の豊かさについて知ってもらい、**地域への愛着を育みます**。

【席数】最大50名【業種】教育事業【営業時間】10:00～17:00（事業内容によって変動あり）【利用者層】ファミリー層

事業内容

自然体験学習

ファミリー層の子どもたちを対象に、淀川の自然に触れて、**生態系**や**自然と人々の共生**、**淀川の自然環境の歴史**、**環境問題の今**、などのカリキュラムを実施することで、淀川の魅力を知り、地域の愛着を高める機会づくりとします。

▼自然の観察と分析の学習



▼干潟での生き物観察



▼環境問題などの啓蒙授業



出典：淀川河川公園HP

地域保育園の外遊び

地域の保育園と連携し、河川敷での**外遊びの拠点**として活用し、平日のにぎわいづくりにも寄与します。

▼地域の保育園の外遊び拠点に



活動の実績紹介

「淀川の歴史を知ろう / ヨシ笛をつくってみよう」

▼ヨシ原で投げ網の見学



▼淀川の歴史についての授業



▼ヨシを使った笛づくり

